

原子力防災訓練実施結果の報告について

平成27年10月30日
北陸電力株式会社

当社は、本日（10月30日）、本年8月21日に実施した原子力防災訓練の実施結果を原子力規制委員会に報告しましたので、お知らせします。

本日（10月30日）、原子力災害対策特別措置法第13条の2第1項の規定^{※1}に基づき、本年8月21日に実施した原子力防災訓練の結果をとりまとめ、原子力規制委員会へ報告しました。

今後とも、原子力防災体制及び緊急時対応の継続的改善に取り組んでまいります。

以 上

添付資料：「防災訓練実施結果報告」の要旨

※1 原子力災害対策特別措置法第13条の2第1項の規定

原子力事業者は、防災訓練の実施の結果を原子力規制委員会に報告するとともに、その要旨を公表しなければならないことを規定。

「防災訓練実施結果報告」の要旨

1. 緊急時演習（総合訓練）

報告項目	主な報告内容
実施年月日	平成 27 年 8 月 21 日
参加人数	393 名
想定した原子力災害の概要	全交流電源喪失により原子炉への注水機能が全て喪失する原子力災害を想定
内 容	(1) 本部運営訓練 (2) アクシデントマネジメント訓練 (3) 通報訓練 (4) 緊急被ばく医療訓練 (5) 緊急時環境放射線モニタリング訓練 (6) 避難誘導訓練 (7) 安全強化策の実動訓練（大容量電源車による給電訓練） (8) 新規制基準設備の実動訓練 (9) シミュレータ訓練 (10) 消防訓練 (11) 原子力事業所災害対策支援拠点訓練 (12) 原子力緊急事態支援組織訓練 (13) プレス対応訓練
結果の概要	計画した各訓練については、特に大きな支障がなく、原子力防災組織・災害対策組織の技能向上及び緊急時対応業務の習熟を図ることができた。
今後の原子力災害対策に向けた改善点	・ 発電所本部席におけるプラント状況及び運転操作情報のより迅速かつ効果的な共有方法の検討 ・ ERC※へより迅速な情報提供を行うための情報提供ツールの充実（原子力班員 [東京支社] のパソコン持ち込み台数を増やすなど） ※ ERC：原子力規制庁緊急時対応センター ・ 訓練内容に応じた訓練評価者の人数・配置などの検討

2. 要素訓練

報告項目	主な報告内容
実施年月日, 参加人数	平成 27 年 8 月 19 日 : 6 名 平成 27 年 8 月 21 日 : 3 名
内 容	原子力事業所災害対策支援拠点訓練
結果の概要	<ul style="list-style-type: none">・原子力事業所災害対策支援拠点である七尾大田火力発電所運動公園に通信機器を設営し, 起動・通信操作が実施できることを確認した。・設営した通信機器を用いて, 発電所の状況把握, 原子力本部との連携が実施できることを確認した。
今後の原子力災害対策に向けた改善点	屋外ハウス内への通信機器設営時における雨水浸入防止方法の検討

(参考 その他教育・訓練の実績)

平成 26 年 10 月 20 日～平成 27 年 8 月 20 日の期間内で計 362 回実施

訓練項目	訓練内容
緊急時の電源確保に係る訓練	電源車による給電訓練 等
緊急時の最終的な除熱機能の確保に係る訓練	消防車による使用済燃料貯蔵プールへの非常送水訓練 等
緊急時の運転操作に係る訓練	運転訓練シミュレータを用いた全交流電源喪失時の対応確認訓練 等
水素爆発の防止に係る訓練	原子炉建屋ブローアウトパネル開放作業訓練
その他の訓練	補機冷却系ポンプモータ復旧訓練 ホイールローダによるがれき撤去訓練 等